

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役 門脇 光浩	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国有林3014林班	設立年月日	平成3年10月22日
電話番号	0187-58-3130	ホームページ	-
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	5,000	50.0%
	(株)玉川温泉	3,100	31.0%
	仙北市	1,000	10.0%
	(株)ぶなの森玉川温泉	900	9.0%
	合計	10,000	100.0%
設立目的	秋田県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備されることから、地区内の県有基盤施設の維持管理や給排水・給排湯施設の整備運営等を目的に、秋田県、仙北市、進出企業の出資により平成3年10月設立。		
事業概要	新玉川リゾート地区進出企業に対する玉川温泉の源泉供給管理及び給排水施設の運営管理、県管施設の指定管理等。		
事業に関連する法令、県計画	「北緯40度シーズナルリゾート秋田」計画(指定区域)		

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

給排水事業は、埋設給水管の破損があり一時的に断水が発生した。また、雨による浄水異常停止が度々あるが適正に対応できている。給水量は前年度を下回った。指定管理業務は、職員のアイデアによる展示・イベント開催で好評でありアンケート評価も上がったが、ビジターセンター来場者数は目標に大きく届かなかった。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
ビジターセンター来場者数(人)	目標	18,000	15,000	11,000	9,500
	実績	11,604	8,673	8,959	-
給水量(m ³)	目標	152,500	145,000	137,000	131,500
	実績	145,323	133,983	131,404	-
顧客満足度指数	目標	76	79	76	84
	実績	79	74	84	-

3 組織

① 役員数(H27.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	
常勤	1	1			支給対象者 (H26年度) - 人
内、県退職者					
内、県職員					平均年齢 - 歳
非常勤	4	4	1	1	
内、県退職者					平均報酬年額 (H26年度) - 千円
内、県職員	1	1			
計	5	5	1	1	
内、県関係者	1	1			

② 職員数(H27.4.1現在) (単位:人)

区分	H26	H27	正職員
正職員			平均年齢 - 歳
内、県退職者			
出向職員	2	1	平均勤続年数 - 年
内、県職員			
臨時・嘱託	1	1	平均年収 (H26年度) - 千円
内、県退職者			
計	3	2	
内、県関係者			

③ 取締役会回数

H25	2	H26	5
-----	---	-----	---

4 財務

① 損益計算書 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
売上高	26,273	28,884
売上原価		
売上総利益	26,273	28,884
販売費及び一般管理費	26,162	29,153
人件費(売上原価含む)	5,267	5,426
営業利益(損失)	111	△ 269
営業外収益	84	451
営業外費用	1	1
経常利益(損失)	194	181
特別利益		
特別損失		
法人税、住民税・事業税	114	109
当期純利益(損失)	80	72

② 貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	29,978	32,986
固定資産	395	1,103
資産計	30,373	34,089
流動負債	19,967	23,611
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	19,967	23,611
資本金	10,000	10,000
利益剰余金等	406	478
純資産計	10,406	10,478
負債・純資産計	30,373	34,089

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.7%	100.6%	△ 0.1%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	150.1%	139.7%	△ 10.4%
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	34.3%	30.7%	△ 3.5%
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100			

5 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金			
委託費	4,686	4,587	基盤施設維持管理業務及び基盤道路除雪業務
指定管理料	4,923	4,921	県営玉川温泉ビジターセンター指定管理

年度末残高	貸付金	損失補償	その他の財政支出(基金等)

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 秋田県の「北緯40度 シーズンリゾート秋 田」の地域指定を受 け、秋田県で整備した 施設の維持・運営管理 を行っており、公共的 役割を担っている。	A 主たる業務と兼務であ るが、組織体制は整っ ている。取締役会は日 程調整して開催してお り、県からの充て職の 役員は取締役会に毎回 出席している。	B ビジターセンターの来場 者数、給水量では目標値 には届かなかった(80% 以上)が、顧客満足度で は目標を上回っている。	A 評価基準に照らすと今期 は「A」評価であるが、 未収金の回収が滞って おり資金繰りの圧迫が 予想される。次年度は、 民事再生債権の回収が 見込まれないことから 財務状況悪化が大きな 課題として残る。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 県がリゾート構想に基 づく新玉川地区に整備 した施設の維持管理を 行っており、また同地 区の施設に対して上水 道の供給等を行うなど 公共的役割を担ってい ると認められる。	A 取締役会は5回開催さ れており法定回数を満 たしている。兼務では あるが常勤の役員が おり体制は整っている。 充て職の役員は毎回 取締役会に出席してい る。常勤職員がおり 体制は整っている。	B ビジターセンターの来場 者数は前年度実績を上 回ったものの目標値に は届いていない。給水 量は前年度実績より減 少し目標を下回った。 顧客満足度が上昇して おり、今後も継続して もらいたい。	A 単年度損益が黒字であ り、累積債務もないこ とからA評価である。自 己評価にあるとおり、 当期未収金が民事再生 債権となっており、次 期以降の財政を圧迫す る可能性が大きいこと から対策を検討する必 要がある。

III 外部専門家のコメント

- ・使用量減による企業負担金収入の減少を特別負担金徴収によって賅ったものの、電気料や車両整備費等の管理費が掛かり増し、当期利益はほぼ前年並みとなっている。
- ・H27年3月末の流動資産に計上されている未収金14,886千円のうち8,843千円については、H27年5月に民事再生の開始決定がなされた主要取引先に対するものであり、回収に懸念がある。当該未収金について実態評価(貸倒引当金を計上して回収可能見込額で評価)した場合、利益剰余金がマイナスとなる可能性が高い。したがって、財務基盤は安定しているとは言えない。
- ・また、上記取引先からの収入は当社にとって重要性があり、当該収入が今後見込めないとすれば損益的にも資金繰り的にも大きなマイナス要因となることが確実であるため、早急に対策を講ずる必要がある。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画では、 出資の経緯等に鑑み存続 が必要な法人に位置付 けられている。県がリゾ ート構想に基づき整備 した源泉供給施設と給 排水施設の維持管理を 行っており、引き続き、 地区内の進出企業の事 業活動を支えていく必 要がある。	A 地区内企業である(株) 玉川温泉内に法人事務 所がある。同社の職員 が法人職員を兼務して おり、適切に業務運営 が行われている。	B 地区内企業に対する給 排水事業については、 適正かつ安定的な実施 が求められる。	B 地区内企業である(株) ぶなの森玉川温泉(民 事再生手続中)に対す る未収金の回収できな くなった場合、財務状 況への悪化が懸念され る。同社の再生計画の 進捗状況に注視しなが ら、対策を検討してい く必要がある。

OH27年度重点取組法人に 選定 する・しない